

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	52	学校名	ふじのくに国際	校長名	眺野 大輔
------	----	-----	---------	-----	-------

1 スクール・ミッション

令和に誕生したフレックスハイスクールとして、生徒一人ひとりの学習スタイルやニーズを尊重し、新しい時代に対応した教育を通して、グローバルな視点を持って地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①学校内外での活動を継続しながら、自分の夢の実現に向けて努力し続ける人 ②予測不能な未来に対し、生涯にわたって学び続ける姿勢と熱意を持ち、新しい考え方や方法を探究して地域社会に貢献する人 ③周囲の人々の多様な価値観を受け止め、自信を持って創造的に自分を表現する人	①【個に応じた学び】多様な経験を持つ生徒各自の個性を尊重して自らの取組と学業の両立を支援し、それぞれの興味・関心に対応できる選択科目や学習スタイルを提供する。 ②【探究的な学び】全教科で探究的な学びを意識し、生徒の学ぶ意欲や好奇心を育むとともに、地域課題の発見・解決を通して、探究し研究するスキルを育成する。 ③【周囲と協働した学び】地域や友人など周囲の人々の経歴や価値観を正しく受け止めるとともに、自分の考えを表現するスキルを育成する。	①学校内外での活動を大切にして学業との両立を目指すなど、多様な学びを求める生徒 ②自ら学び、探究することを通じて、積極的に地域社会に貢献したい生徒 ③周囲の意見を謙虚に受け止め、自分の考えをしっかりと述べることができるようになりたい生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア ICT等を有効に活用し、生徒の主体的な学びを喚起するとともに、個に応じた指導の充実を図り、個別最適な学びの実現を目指す。
- イ 全ての教育活動で探究的な学びに取り組むことにより、生徒の課題解決能力を養い、グローバル・グローバルな視点の新しい価値を創造していく力を育成する。
- ウ 基本的な生活習慣を確立し、心身ともに健康な身体をつくとともに、協働的な学びを通し、社会を生き抜く力を育成し、生徒個々のウェルビーイングの向上を目指す。
- エ 個性を尊重したキャリア形成を支援し、生徒自らが夢の実現に向けて未来を切り拓いていく力を育成する。
- オ 家庭や地域、社会と積極的に向き合い、地域に貢献する人づくり・信頼される学校づくりを推進する。
- カ 様々な課題に応じた相談・支援体制の充実を図り、生徒が多様な価値観や個性を尊重し、望ましい人間関係を形成する力を育成する。
- キ 国際バカロレア教育の充実に向けて、教育プログラム等の研究を推進するとともに、その魅力を県民及び他校に積極的に発信する。
- ク 働き方改革を推進するとともに、時代に対応した多様で魅力ある学びの場の整備・充実を図る。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	ICT等を有効に活用し、生徒の主体的な学びを喚起するとともに、個に応じた指導の充実を図り、個別最適な学びの実現を目指す。	○生徒の学びの状況を的確に把握し、授業内容が理解できるよう実態に即した授業改善・工夫を行う。	○教員の指導の工夫により授業内容を理解できたと答える生徒 85%以上	学び支援
		○ICTの活用事例を共有し、個に応じた指導が充実するよう工夫を行う。	○ICTを活用して個に応じた指導につなげる工夫をしたと答える教員 80%以上	未来支援 (研修)
		○生徒が個人端末等を授業や自学で活用して情報活用能力を高め、主体的な学びに繋げる支援を行う。	○授業で個人端末を活用し、自分の考えが深められたと答える生徒 80%以上	学び支援 (DX)
イ	全ての教育活動で探究的な学びに取り組むことにより、生徒の課題解決能力を養い、グローバル・グローバルな視点の新しい価値を創造していく力を育成する。	○生徒が探究的な学びを自分事とし、地域や社会及び自己の理解を深めるプログラムを実施する。 ○静岡大学や島田市、国内外の様々な機関と連携・協働して探究的な学びを充実させる。 ○全ての教員が探究的な学びを取り入れた授業実践を行う。	○授業を通して探究的な学びに取り組む意欲が向上したと答える生徒 80%以上 ○校外の人や団体の協力を得て学習したと答える生徒 90%以上 ○各教科の授業に探究的な手法を取り入れた教員 100%	探究 Co. 総探推進 委員会
		○多様な才能や資質を持つ生徒が活躍できる機会をつくる。	○個々の能力や個性を大切に学校生活を送ったと答える生徒 80%以上	学び支援 学校魅力化 プラン TF
		○総合的な探究の時間を軸に各教科の授業において探究的な学びを深める指導について研修を行う。	○校内研修により、授業改善についての知識・技能が高まった教員 90%以上	未来支援 (研修)
ウ	基本的な生活習慣を確立し、心身ともに健康な身体をつくるとともに、協働的な学びを通し、社会を生き抜く力を育成し、生徒個々のウェルビーイングの向上を目指す。	○生徒が互いに安心・安全な学校生活を送るためのルールやマナーについて考える機会をつくる。 ○生徒が学校行事等の企画・運営に主体的・協働的に参加し、自己存在感・自己有用感を高められるように工夫する。	○皆が安心して学校生活を送れるよう意識していると答える生徒 90%以上 ○自分に良いところがあると答える生徒 70%以上 ○自分のニーズにあった学校生活を送ることができていると答える生徒 80%以上 ○交通事故発生件数：0件	生徒支援
		○専門機関との連携や計画的な周知を通して交通安全意識を高める。	○図書館を利用したと答える生徒 70%以上	総務企画
		○「生活習慣チェック」を毎月行い、自分の生活や健康状態を把握し、見直すことで基本的な生活習慣を身に付ける。	○年間を通じた朝食摂取率が 80%以上	健康支援

様式第1号

エ	個性を尊重したキャリア形成を支援し、生徒自らが夢の実現に向けて未来を切り拓いていく力を育成する。	○進路希望調査や進路ガイダンス等により、生徒が自らを見つめ、キャリア形成について考える機会をつくる。 ○校外の機関と連携・協力しながら、生徒の多様な進路希望に応じた支援体制を整備する。	○自分自身について考えた（自己理解に努めた）と答える生徒 80%以上 ○高校卒業後の自分自身の生き方について考えたと答える生徒 70%以上	未来支援
オ	家庭や地域、社会と積極的に向き合い、地域に貢献する人づくり・信頼される学校づくりを推進する。	○生徒が自宅や地域の防災への意識を高める計画的な周知を行う。 ○学校運営協議会を設置し、地域と連携した学校運営を推進する。	○避難所、自宅の防災用品の確認をした生徒 70%以上	総務企画
		○本校での学習や学校生活の理解促進につながる情報をホームページや SNS を活用して発信する。	○学校は生徒の学校生活の様子について情報提供してくれると答える保護者 80%以上 ○中学校向け学校説明会の参加者 80 人以上	総務企画 広報推進 TF
		○校内外での奉仕活動等を通して、他者や地域を理解し、共に生きる態度を育成する。	○校内外で他者への奉仕活動や貢献活動を行った生徒 60%以上	生徒支援
カ	様々な課題に応じた相談・支援体制の充実を図り、生徒が多様な価値観や個性を尊重し、望ましい人間関係を形成する力を育成する。	○生徒のあらわれを一元化し、専門職と連携した支援に活用する。 ○専門職と連携し、生徒個々の実態に応じた対人関係形成力の向上支援を行う。 ○予防的な支援の充実とともに、適時的なケース会議の実施及び初期対応ができる体制を整える。 ○SC、SSWr 等の専門職と連携を取り、行政や医療機関に繋げる。	○先生方は悩みや相談に応じてくれると答える生徒 80%以上 ○生徒の多様性に配慮した支援をしていると答える教員 100%	健康支援 (教育相談室) 特支 Co. 生徒支援
キ	国際バカロレア教育の充実に向けて、教育プログラム等の研究を推進するとともに、その魅力を県民及び他校に積極的に発信する。	○IB 教育の指導力の向上につなげる実践共有の機会を定期的に設定する。 ○IB 先進校視察等の研究・調査を推進する。 ○DP 希望者のための校内説明会を実施し、希望者の IB 教育への理解と適切な選択を支援する。	○授業の中で生徒の ATL を高める指導の工夫をした教員 80%以上 ○DP・preDP で学びに深く向き合っていると答える生徒 70%以上 ○IB の学びについて理解した上で DP を選択した生徒 100%	DPCo. IB 推進委員会 学び支援
		○ホームページや SNS を活用して、中学生や保護者の求めに応じた IB 教育への理解を促す情報発信を行い、効果的な広報を実施する。	○説明会で IB 教育への理解を深めた参加者 80%以上	学び支援 総務企画 広報推進タスクフォース
ク	働き方改革を推進するとともに、時代に対応した多様で魅力ある学びの場の整備・充実を図る。	○多様なニーズを持つ生徒の学びを全職員で支える校務分掌及び所掌業務の整備を計画的に進める。 ○履修登録システムや採点支援システム、学習支援クラウドサービス等を活用して業務改善を図る。 ○連絡ツール（C-ラーニング）の	○毎月の時間外在校等時間の一人当たりの平均時間 30 時間以下 ○ICT を活用して業務改善をしたと答える教員 80%以上 ○C-ラーニングを学校との	学び支援 (DX) 管理職

様式第1号

		効果的な活用の工夫を行う。	情報共有に活用できた生徒・保護者 95%以上	
		○定期的な安全点検の実施により施設設備の課題を早期に把握する。 ○学習環境の向上のための施設設備の計画的な整備・充実を行う。	○施設設備に起因する事故0件	事務部
		○全職員の不祥事根絶・法令遵守の意識向上のための継続的な取組を実施する。	○全職員による校内コンプライアンス委員会を毎月実施	校内コンプライアンス委員会